

岡山市中区平井学区

じしん・つなみ・こうずいからの ひなんマップ

地震・津波・洪水からの 避難マップ 2016

平井学区安全・安心ネットワーク 岡山市中区平井四丁目19-52

このマップの3つのねらいと役立て方

1. 災害時の避難路【カラー版マップ(表面)】

地震・津波・洪水・がけ崩れ等の災害時に必要な避難路の情報を【カラー版マップ(表面)】に整理しました。このマップを使って家族や地域で話し合い、避難場所や避難路を書き加え、壁に貼っておきましょう。

- ① 避難施設・高台・垂直方向避難に役立つような施設・公園
- ② 平井小までの通学路(赤線)を基礎に、迂回路(青線)を加えた、主要な避難路候補(平井学区内のほぼすべての道路が入った新たに描いた図)
- ③ 津波・洪水からの避難時に参考になる海拔表示
- ④ 日頃の避難訓練の単位となる町内会の名称
- ⑤ 平井小学校体育館までの直線距離

2. 高齢者・小さな子ども・障がい児(者)のために【カラー版マップ(裏面)】

いなくなった高齢者(認知症)、小さな子ども、障がい児(者)を捜索する時に、最も必要なことは「探さなければいけない範囲はどこか?」「今、捜索員の誰がどこにいるか?」といった情報を、共有化することです。災害時・平時にかかわらず、一刻を争います。これを整理し記載するために、学区内のほぼすべての道路の位置をマップに記載しました。捜索本部がこのマップに状況を記載していくことにより、見落としや重複がない捜索が期待できます。

3. 通学路のプロフェッショナル小学生の知識を避難に活かす。【白黒版マップ(裏面)】

平井小学校児童(2014年度5年生)が作成した「通学途上時に地震が発生した時の安全確保に必要な情報」を【白黒版マップ(裏面)】に整理しました。この情報を活用し、児童の通学時、避難時の安全性を高めていきましょう。
このマップには、地域住民と学生がワークショップをして安全な避難について検討した成果も盛り込んでいます。

制作：平井学区安全・安心ネットワーク

調査・意見収集・編集：山陽学園大学総合人間学部生活心理学科住居学研究室

● マップ作成についてお教えいただいた団体との方々

岡山市立平井小学校、岡山大学教育学部附属重特別支援学校、交響

地域住民の方々、山陽学園大学・山陽学園短期大学公開講座2015講師の方々

● 助成：岡山市(区づくり推進事業)



避難施設(学区と協定):
ワールドオプティカル
カレッジ

ひらいしょうごう
避難施設: 平井小学校体育館

このマップにかきこんで おくこと

1. 避難の準備 (ひなん)
 - ① じぶんのいえにしろしをつける。
 - ② ひなん先を、いえの人とそうだんしてきめ、しろしをつける。
 - ③ あんぜんなひなんろを、いえの人とそうだんしてかきこむ。
2. おとしよ
 - ① ちかくにお年よりはいるか?
 - ② 道であつたらあいさつしよう。
3. 小さい子ども・しょうがいじ
 - ① いつもはみない、こまっているような子どもをみたら、いえの人が先か、こうばんにつたえよう。
4. たいせつなでんわばんごう
 -
 -
 -

凡例 (ちずきごのみほん)

- 避難施設 (にげていくところ)
- 避難路候補 (通学路) (にげるみち(つうがくろ))
- 避難路候補 (通学路に加えて) (にげるみち(つうがくろのほかに))
- 海拔表示プレート (うみからのたかさ)
- 主な公園・広場 (おもなこうえん・ひろば)
- 主な公共・公益施設
- 主な建築物 (おきななてのもの)

平井小体育館から直線距離2km
平井小体育館から直線距離3km
←縮尺: 1km→

ひがしやまこうみんかん
避難施設: 東山公民館 避難施設 収容293人

さながわ歯科
ひらいコミュニティハウス
避難施設: 平井コミュニティハウス 収容148人

ひらいようちえん
平井幼稚園

おかだいふぞくとくべつしえんがっこう
岡山大学附属特別支援学校

にじいろ薬局
岡山中央病院

倉田北交差点

トマト銀行平井支店
マルナカ

岡山旭東病院
岡山ワイズ小児・矯正歯科

岡山愛育クリニック
岡山リハビリテーション病院

平井荘苑

避難施設: 特別養護老人ホーム おもいやり